

## 職員による自己評価

**A 環境面**

基準の倍の面積を有する、スペース的には問題ないが傾斜の強い階段があることが課題の為、階段昇降時は常に職員が見守りを行っている。

**B 児童への支援内容**

安心と安らぎ空間の提供を心掛けており、その上で個人の特性に合わせた、きめ細やかな支援を目指している

**C 関係機関との連携**

医療や各種支援機関、学校などとの連携は一部で実施しているが、十分ではない。

**D 保護者への説明責任・信頼関係**

ご自宅送り時等の機会を利用して丁寧な説明を心掛けている。職員のスキルアップを通じて信頼関係を重ねていく必要性を感じている。

**E 非常対応**

1 階の学童と協力し行動することを確認し合っている。防災訓練を各月に 1 回行っている。

## 保護者による評価

**A 環境面**

- ・クールダウンのスペースがあると良い。
- ・階段の勾配がきつく危険だ。

**B 児童への支援内容**

- ・プログラムの固定化は、必要だと思っている。
- ・児童クラブとの交流は求めている

**C 事業所からの情報発信**

- ・面談はなく書面のみ。
- ・仕事で忙しいので保護者会は作ってほしいとは思わない。今のままで満足している。
- ・みどり通信を楽しみにしている。
- ・土曜祝日の活動内容を事前に教えてほしい

**D 非常対応**

- ・避難訓練に対して、一日では全員参加できないので、1 週間単位で行った方が良い。

**E その他**

- ・子どもの通所に対しては、楽しみにしている。良い環境 安心できる、おやつ楽しみ、学習支援は助かる。

## 事業所内での分析

**【共通点】**

規定面積 68 m<sup>2</sup>の 2 倍の面積 168 m<sup>2</sup>を確保しているため、スペースの面では、良好な状況といえる。毎年指摘されている階段の勾配のきつきについては、移動時に職員が常に階段上下で、見守りし、事故が無いようにしている。

面談がない文書のみとの指摘があったが、個別の問い合わせや、相談は、いつでも受け、みどり通信等で伝えることもしている。

**【相違点】**

保護者への説明、及び教育相談など双方向の伝達情報が、事業所が思っているほどご家庭には伝わっていない。

## 分析・検討してみても…

### 事業所の強み

- ・階段は、改善すべき部分だが、スペース的には問題ない。シャワー室、静養室、等を設置している。
- ・宿題タイムにおいては、経験を積んだ元教員が、躓きやすい所に目を向けてフォローしている。
- ・階下で、同一法人の運営する学童保育が運営されている。イベント、公園での見守り、避難訓練で、交流している。避難訓練を繰り返すことで職員の利用者への安全確保へ向けた対応力のスキルアップをめざしている。

### 事業所の改善点

- ・職員が少ない状況にあるが、専門的なスキルを高めるため、様々な研修の受講や、他事業所、関係機関との連携強化が課題。
- ・面談、保護者会など家庭との連携強化が課題。

### 事業所の改善への取り組み

- ・日常生活、学習、運動、戸外活動、レクリエーション、他者との交流を通じたコミュニケーション能力の向上等個性にあったプログラム（食育、自分を守る力を付ける（防災学習）、学習支援）を柱にした活動や企画を今後も継続していく。
- ・1F学童クラブとイベントや防災対策、緊急時の対応について連携していく。
- ・非常時の対応に対して保護者への説明周知を徹底する。
- ・保護者会などを通じて緊急時の連絡先や連絡方法を再度確認する。

### 自己評価を行っての事業所としての感想など

- ・保護者のアンケートや職員による自己点検評価を通じて改めて客観性をもって見直す機会となった。
- ・改善、見直しを通じて引き続きご満足いただけるサービスを提供していきます。